

令和4年度 全国学力・学習状況調査をふりかえって

教務主任 村上 明弘

4月に全国の6年生を対象にした全国学力・学習状況調査(国語・算数・理科・児童アンケート)が行われました。調査結果を分析した結果、良さと課題が見えてきました。学校ではさらに学力向上のため以下のことに力を入れてまいります。ご家庭でも、お子様の学習面や生活面で改善すべき点を考えていただき、今後のお子様の成長にお役立てください。



結果および考察、今後について

【国語】

- ・「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える力」はおおむねついていきます。今後もよりよい仲間関係を築く中で話し合い活動を円滑に行い、児童相互で考えの理解を深めていきたいと思えます。
- ・「表現の効果を考える力」「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える力」に弱さが見られました。授業では物語全体を見通して、複数の叙述を基に行動や気持ちなどを捉えるようにさせたいとです。また、様々な表現に着目させ、読み手に与える効果について自分の考えを表現できるようにしたいです。

ご家庭でも日ごろから本や新聞などを読む習慣づくりをし、わからない言葉を辞書などで調べたり、図表の見方を身につけさせたりしてください。長い文章を根気よく読めるようになるとよいと思えます。

【算数】

- ・ 1050×4 などの計算や百分率で表された割合を分数で表すことなど基本的な知識理解がおおむねできています。今後も各単元で身につける技能や知識の定着を見届けていきます。
- ・「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する力」に弱さが見られました。授業内で考察した内容を算数用語を使いながら記述する場面を設けていきます。

算数科では概念や性質を実生活の中で実感を伴いながら生きて働く知識および技能として定着を図ることを目指しています。ご家庭でも生活場面で「このおかずを $\frac{1}{3}$ に分けてね。」「今から○分後に△△してね。」と声をかけたり、お店で〇〇円を渡し、「〇〇円で買いたいものを3品(ぎりぎりの値段)買ってね。」と話しかけたりするなどして、見届けてもよいと思えます。(昨年度と継続)

【理科】

- ・「問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋

をつけ、自分の考えをもつことができる」など、情報や視点をもとに自分の考えをもつことがおおむねできました。今後も疑問を調べるためにはどうすればよいか主体的に考える場をつくっていきます。

・「観察などで得た結果を分析して、解釈し、自分の考えをもつ力」に弱さが見られました。既習事項や生活経験などから多面的に結果を捉えられるようにしていきます。

【質問紙調査】

- ・ 基本的な生活習慣が身についており、TV ゲームや動画視聴の時間が少ないことがわかりました。
- ・ 自己肯定感は平均的ですが、自ら挑戦しようとする力に弱さがある傾向があります。規範意識は高く、自分を社会のために役立たせたいと考えています。
- ・ 学校は楽しく、仲間と協力することも楽しいと考えています。
- ・ 家庭での勉強時間は平均的ですが、読書時間は顕著に少ないです。読書自体もあまり好きでない傾向です。
- ・ ICT 機器が勉強の役に立つと思っています。
- ・ 主体的・対話的で深い学びができていると感じている児童が多いです。
- ・ 総合、学活、道徳に前向きに取り組んでいます。
- ・ 国語の学習は社会に出た時に役に立つと感じています。
- ・ 算数の学習に対し、必要感を感じ、非常に前向きに取り組んでいます。
- ・ 理科は学習したことを普段の生活で活用しようと考えています。

ご家庭でも「できる」事実を積み重ね、自信を深め、自己肯定感を高めていきましょう。それが学力向上にもつながっていきます。さらに子どもが楽しんで読書をする方法や環境づくりも考え実践していけるとよいですね。